

# 自ら考え、発言し、行動する人に 日高学長 「大学で学ぶこと」を語る

# 三ノ専修

毎月1回15日発行  
(定価一部90円)  
発行所  
専修大学広報課  
〒101-8425 東京都千代田区  
東神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

http://www.senshu-u.ac.jp/

## 主なニュース

「とにかく話をしよう・話を聞こう」砂原由和学生相談室長に聞く……  
特集・図書館を利用しよう……  
2013年度学校法人専修大学事業計画・予算……  
海外研修寄稿・学生部セミナー／グルジア・アルメニア訪問記……  
教育研究振興協力資金募金寄付者芳名……  
「石巻専修大学」「復興ボランティア学」がスタート……

学校をつくろう  
創立者4人の青春物語  
DVD絶賛販売中(購買会他)

あなたが  
見つか  
るキャンパス  
OPEN THE BOX!

ペアレンツフェア  
5/19 生田 SUN

体験授業フェア  
6/23 生田 SUN

オープンキャンパス  
7/14 神田 SUN

8/4 生田 SUN・5 生田 MON

9/15 生田 SUN

キャンパスツアー  
6月▶12月 生田 生田

入学センターインフォメーション  
【神田キャンパス】TEL03-3265-6677  
【生田キャンパス】TEL044-911-0794

## 王立ブノンペン大学(カンボジア)と 国際交流協定 17カ国・地域21大学に

専修大学は4月29日、(市)と国際交流協定を結ぶ。王立ブノンペン大学(カンボジア)とカンボジアの大学とは初めての締結で、今後両国期待される。本学の協定大学の教員・研究者や学生との間で活発な交流がとられた。

## 6年目迎えた「専修大学の歴史」教養特殊講義

王立ブノンペン大学はカンボジアで創立された最初の高等教育機関。社会科学部、理工学部、外国語研究所、および大学院修士課程などがある。

教養特殊講義「専修大学の歴史」(平凡社)が使われている。大学の歴史―日本近現代史のなかの専修大学―の教科書には「専修大学の歴史」(平凡社)が使われている。同講義の受講をしていない学生にも無料で配布している。希望者は大学史料課(03-32605)5879へ。



専修大学の歴史

「専修大学の歴史」(平凡社)が使われている。大学の歴史―日本近現代史のなかの専修大学―の教科書には「専修大学の歴史」(平凡社)が使われている。同講義の受講をしていない学生にも無料で配布している。希望者は大学史料課(03-32605)5879へ。

観豊かな人材を育成する。「知の発信」により社会のあるべき姿を提示する。日高学長は、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を掲げた専修大学の姿勢を示し、「専修大学で学んでいることに自信と誇りを持ってほしい」と呼びかけた。

最前列で講義を聞いた韓国の留学生・金桐敷さん(商2)は「学長の、学問はその国のことばで考えなければ身につかないというお話とドイツ留学時のエピソードが自分の体験に重なり、我がことのように身近に感じました」と語った。

## 歓迎フレッシュ1年次生



今年4年目を迎えた人間科学部社会科学科の新入生歓迎会が4月10日、生田キャンパスで新入生・上級生、教員ら100人が参加して開催された。

社会科学科  
1年次生は仲間同士で親睦を深め、上級生や教員から学業と大学生活についてアドバイスを受けていた。

写真中央は上級生として自身の海外研修体験を語る長橋末麻さん(4年次)。



「大学で学ぶ意味は何は、生田キャンパスで日高学長が「建学の精神」として語った。今年9月に創立134年を前に講義した「写真」。

特殊講義は、近現代に迎える専修大学の歴史と建学の精神を学ぶ、教養が果たした役割、先人の努力の足跡を学ぶ。専修大学の歴史と建学の精神を学ぶ。文学部教授(全1テーマ)が始めた。4月19日に「アイデンティティ」を持ってもらうこと

「学問に「正解」はない。壁にぶつかった時に、その問題をどう解決するのかが、自ら考えるしかない。学問の本質は、自分の頭で考え、発言し、行動できるようにすることにある。大学はそこを学ぶところだ」と語った。

「専修大学の歴史」(平凡社)が使われている。大学の歴史―日本近現代史のなかの専修大学―の教科書には「専修大学の歴史」(平凡社)が使われている。同講義の受講をしていない学生にも無料で配布している。希望者は大学史料課(03-32605)5879へ。

OB・長州力さん 後輩指導  
「レスリングを五輪種目に」

プロレスラーの長州力さん(昭49商)が、4月10日、母校生田キャンパスのレスリング部を訪ねた。長州さんは、2020年夏季五輪の実施競技から除外される危機にあるレスリング部員と共にアピールした後、マットに立って後輩を指導した。

指導を受けた同部の谷藤広基さん(経済2)は、「長州さんは体が大きく力が強かった。攻めが単発で終わらないような連発の取り方や、グラウンドでバックを取った時の攻め方を指導していた。卒業時には川島記念体育賞を受賞した。」

「大学で学ぶ意味は何は、生田キャンパスで日高学長が「建学の精神」として語った。今年9月に創立134年を前に講義した「写真」。

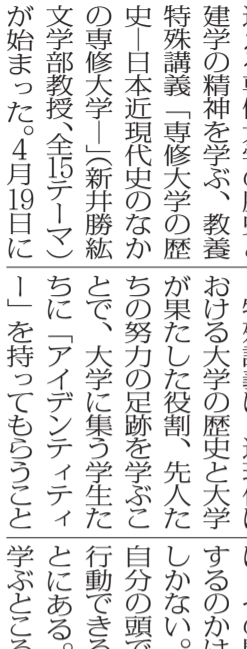
特殊講義は、近現代に迎える専修大学の歴史と建学の精神を学ぶ、教養が果たした役割、先人の努力の足跡を学ぶ。専修大学の歴史と建学の精神を学ぶ。文学部教授(全1テーマ)が始めた。4月19日に「アイデンティティ」を持ってもらうこと

「学問に「正解」はない。壁にぶつかった時に、その問題をどう解決するのかが、自ら考えるしかない。学問の本質は、自分の頭で考え、発言し、行動できるようにすることにある。大学はそこを学ぶところだ」と語った。

「専修大学の歴史」(平凡社)が使われている。大学の歴史―日本近現代史のなかの専修大学―の教科書には「専修大学の歴史」(平凡社)が使われている。同講義の受講をしていない学生にも無料で配布している。希望者は大学史料課(03-32605)5879へ。

観豊かな人材を育成する。「知の発信」により社会のあるべき姿を提示する。日高学長は、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を掲げた専修大学の姿勢を示し、「専修大学で学んでいることに自信と誇りを持ってほしい」と呼びかけた。

最前列で講義を聞いた韓国の留学生・金桐敷さん(商2)は「学長の、学問はその国のことばで考えなければ身につかないというお話とドイツ留学時のエピソードが自分の体験に重なり、我がことのように身近に感じました」と語った。



▲ 熱心に講義を聞く学生たち



長州さん(中央)を囲んで



長州さん(中央)を囲んで